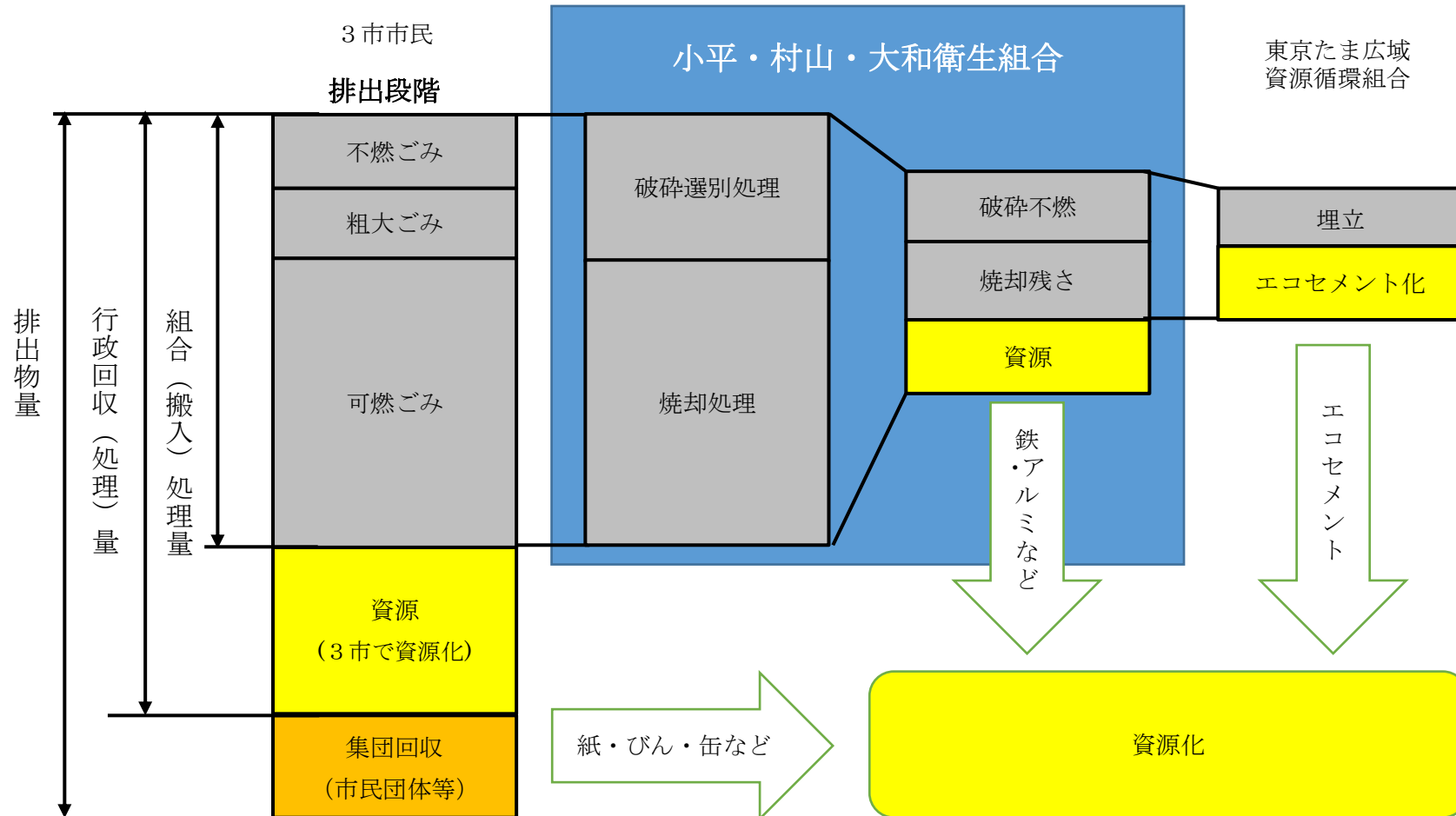


ごみ量予測 説明資料

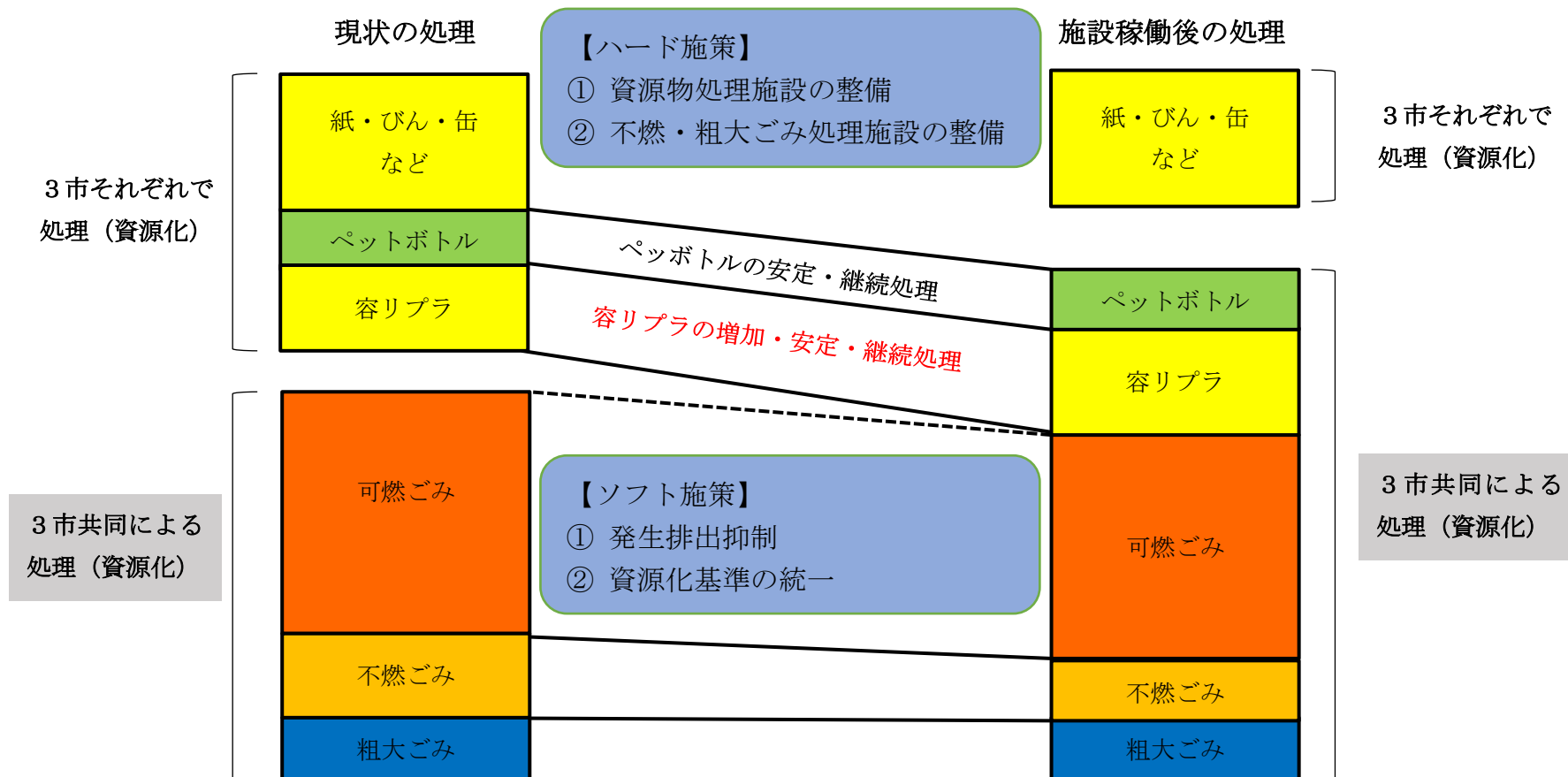
廃棄物処理の流れと用語の意味（イメージ図）



ごみ量予測 説明資料

3市共同資源化事業の意義（イメージ図）

目的：循環型社会の形成推進



ごみ量予測 説明資料

排出物量及びそのごみ種別内訳の予測

2 予測方法

- | | | |
|-----------------------------------|-------------------------|-----|
| ① 人口の予測 (人) | → 各市の人口推計 | (J) |
| ② 一人1日当たり排出物量 (原単位: 〇〇g/人・日) を予測 | → 各市の予測値及び目標値 | (H) |
| ③ 一人1日当たり組合処理量 (原単位: 〇〇g/人・日) を予測 | → 各市の予測値及び目標値 | (K) |
| ④ 排出物量に占める集団回収量 | → 平成26年度の原単位で推移 | (S) |
| ⑤ 行政処理量に占める廃棄物の種別別割合の予測 (補正: %) | → 小平市はごみ質分析から 2市は実績から推計 | (W) |

1 排出物量の実績の把握 (過去5年)

- ① 行政回収量
- ② 集団回収量
- ③ 中間処理量
- ④ 行政回収量中の資源量
- ⑤ 最終処分量
- ⑥ 行政処理量に占める廃棄物の種別別の割合

3 排出物量 (平成35年度) の推計 (G)

$$\begin{aligned} &\rightarrow J \text{ (人)} \times H \text{ (g/人・日)} \times 366 \text{ 日} \\ &= \boxed{85,047 \text{ t/年}} \end{aligned}$$

4 資源物の排出量 (t/年) の推計 (R)

$$\begin{aligned} &\rightarrow J \text{ (人)} \times (H - K) \text{ (g/人・日)} \times 366 \text{ 日} \\ &= \boxed{21,276 \text{ t/年}} \end{aligned}$$

5 資源物の種別別排出量 (t/日) の推計 (R_x)

$$\begin{aligned} &\rightarrow R_x \times (W_x \div \text{資源物Wの合計}) \\ \text{容リプラ (R}_y\text{)} &= \boxed{3,794 \text{ t/年}} \\ \text{ペットボトル (R}_p\text{)} &= \boxed{1,005 \text{ t/年}} \end{aligned}$$

ごみ量予測 説明資料

資源物処理施設の規模の算定

- 1 前提
- ① 設備は、原則として1日当たり5時間運転とする。
 - ② 稼働日は、土日、年末年始及び定期修繕期間は休止することとして算定する。(稼働日：A日)
 - ③ 資源搬入量は、月により変動がある。(計画月変動係数：B)
 - ④ 処理量は、排出物量及びそのごみ種別内訳の予測による。(計画処理量：C t/年)
 - ⑤ 施設規模の算定は、しゅん工から7年間で処理量が最大となる年度(平成35年度)に基づく。

A 稼働日

年間日数		365日
定休日		115日
土日	52週×2日	104日
年末年始		6日
定期修繕		5日
稼働日	365-115	250日

B 計画月変動係数

品目	計画月変動係数
容リプラ (B _Y)	1.12
ペットボトル (B _P)	1.48

C 計画処理量 (t/年)

品目	計画処理量
容リプラ (C _Y)	3,794
ペットボトル (C _P)	1,005

予測

2 施設規模 (能力)

- ① 容リプラ施設規模 = $B_Y \times C_Y / A \approx 16.9 \rightarrow \underline{17 \text{ t/日 (5時間)}}$
- ② ペットボトル施設規模 = $B_P \times C_P / A \approx 5.9 \rightarrow \underline{6 \text{ t/日 (5時間)}}$